

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	1 年	美 術

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>○絵画（鉛筆デッサンの基礎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの見方や感じ方を深め、対象の形や明暗をとらえて立体的に表現する。 <p>○デザイン（絵文字、葉っぱの形を使った平面構成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の三属性および色の性質や感情、配色に関して理解し、色彩表現への関心を高める。 ・自然物から新しい形を発見し、美しさを感じることを通して発想力を高める。 ・伝えたい内容を印象的に強調して表す。 <p>○鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の個性をつかみ、表現されている内容を素直に味わう。
使用教材	<p>教科書：美術1 出会いと広がり（日本文教出版）</p> <p>副教材：美術資料（秀学社）、レタリング字典（秀学社）</p> <p>使用教材：鉛筆、色鉛筆、スケッチブック、アクリルガッシュ、ケント紙、紙コップ</p>

2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
① 関心・意欲・態度	<p>【全単元共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい作品をつくるため、課題を理解し、集中して制作できる。 ・作品やプリントを期日までに提出することができる。 ・毎時間、自主的に準備や片付けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・準備物 ・提出物 ・期末テスト（筆記）
② 発想や構想の能力	<p>【絵画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象の特徴をとらえて、発想し構成できる。 ・自分のイメージに合った表現を考えて制作できる。 <p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい形を発見し、独創的な発想ができる。 ・集めた資料をもとに、アイデアスケッチをして発想し、効果的な表現を構想することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・作品 ・期末テスト（実技） ・プリント ・アイデアスケッチ ・作品

③創造的な技能	<p>【絵画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆の使い方を工夫して、材質感や立体感を表すことができる。 <p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平ぬりの技法を習得することができる。 独創的な形や美しさを見つけ出し、構成ができる。 効果的な構成や色彩などを工夫し、目的に合った表現をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 作品 期末テスト（実技） <ul style="list-style-type: none"> プリント アイデアスケッチ 作品
④鑑賞の能力	<p>【全単元共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自他の作品のよさや美しさを味わい、表現方法を感じ取ろうとする。 対象に向かう作者の姿勢や表現上の特色などを感じ取りながら、作品の魅力を味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞プリント 期末テスト（鑑賞）

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一学期	絵画（鉛筆デッサンの基礎） 鑑賞（絵文字） デザイン（色彩の基礎） 期末テスト（鉛筆デッサン）	②ものの見方、感じ方を深め、構想することができる。 ③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。 ④作品のよい点、気づいた点、疑問点など自分の見方を深める。 お互いの発見や感動の喜びを尊重し共有することができる。 ③平ぬりの技法を用いて、美しく彩色できる。 ②ものの見方を深め、表現方法を工夫して豊かな発想ができる。 ③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。
二学期	デザイン（絵文字） 鑑賞（絵文字） 期末テスト（鉛筆デッサン）	②文字の意味から発想し、新しい形を作り出すことができる。 ③平ぬりの技法を用いて、美しく彩色できる。 ④作品のよい点、気づいた点、疑問点など自分の見方を深める。 仲間の表現を認め、尊重することができる。 ②ものの見方を深め、表現方法を工夫して豊かな発想ができる。 ③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。

三 学 期	デザイン（葉っぱの形を使った平面構成）	②構成美の要素を用いて、美的感覚を働かせて発想することができる。 ③平ぬりの技法を用いて、美しく彩色できる。
	鑑賞（平面構成）	④作品のよい点、気づいた点、疑問点など自分の見方を深める。仲間の表現を認め、尊重することができる。
	学年末テスト（鉛筆デッサン）	②ものの見方を深め、表現方法を工夫して豊かな発想ができる。 ③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 真剣な態度で授業に臨みましょう。授業に対する姿勢が作品に表れます。授業と関係のないお喋りをしながらではよい作品はできません。 ・ 忘れ物に気をつけましょう。学校では貸し出しは行いません。友達から借りることもしません。自分の用具で作品づくりに臨みましょう。 ・ 提出期日を守りましょう。作品が提出されていなければ評価できません。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ものを見る目」「ものごとを感じる心」を育てましょう。美術館だけでなく、テレビ、雑誌、お店の看板やポスター、本の表紙や挿絵などを注意深く見てみましょう。また、身近な自然（草花、空、川など）にも心を傾けてみましょう。世の中にはたくさんの「いろ」と「かたち」があふれています。作品づくりのヒントを見逃さないよう、アンテナを高く持っていきましょう。 ・ 定期テスト前には、鉛筆デッサンの練習をしましょう。デッサンは、描けば描くほど上達します。あきらめずに取り組みましょう。